



会 員 数 59 名 出席者46名・欠席者11名・免除会員3名
欠 席 者 天野・和泉享・加内・松山・中川・中西
中野昌・野口・岡田・橘・田中-会員
来 訪 者

前々回出席率 80.70%(10/6)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 山内 孝茂
幹 事 谷本 順三
会報委員長 稲田 達典

お知らせ

・ 10月のプログラム
6 (No.1)-クラブフォーラム
13 (No.2)-職場例会
20 (No.3)-会員卓話
27 (No.4)-客話

・ 他RC例会変更
坂出東 9/14→9/16
夜間例会
善通寺 9/21→9/16
夜間例会

・ ニコニコBOX;
祝結婚月
頼富君
よいことがありました
秋山憲夫君
第2回日本酒同好会を終えて
陶國君
元気になりました
また職業奉仕できます
高岡君
子供の一ヵ月健診終わりました
倉田君

<ニコニコ会計累積/¥209,000>

・ がんばるBOX;
出席できなくて
塩田君

<がんばる会計累積/¥144,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

今、世界では9人に1人が飢餓に苦しむ一方、年間約13億トンもの食品が食べられずに捨てられています。「食品ロス」を減らそうと長野県松本市の市長が6年前に30・10(さんまるいちまる)運動を提案しました。これは職員の懇親会の時に乾杯の後の30分間、お開き前の10分間は各人が自分の席でしっかり料理を食べる時間としました。運動は市役所から企業へと広まり、家庭版30・10も考案され、毎月30日は食材を使い切る「冷蔵庫クリーンアップ」の日、10日は「もったいないクッキング」の日として広まっています。職員たちは、次代を担う子供たちにも広げていくことが大切と考え、保育園や幼稚園を訪問し、紙芝居やクイズで食べ物大切さを伝えているそうです。今年フランスでは大型スーパーの食品廃棄が規制され、中国では完食して皿をピカピカにする「光盤」運動を提唱しています。私も信州発の30・10運動を宴会・家庭の中で普遍的に提唱していきたいと思えます。

■幹事報告

①10/19(水)、丸亀少女の家の運動会参加報告

■委員会報告

①大山環境保全委員長より、瀬戸芸ボランティア参加報告
②川原親睦委員会より、11/13家族親睦バスツアーの案内報告

■例会事業: 会員卓話: 藤井紀子会員

今年の9月にフランスとドイツのロータリークラブを表敬訪問してきました。フランスではルーアンロータリークラブに訪問し、例会に参加しました。ルーアンはパリから北西に約120kmの町で約11万人の町です。会場はホテルの一室で行っており、会員構成は男性が多く、女性の会員もいらっしゃるのですが、当日は参加されてませんでした。例会は会長の挨拶で始まり、会員卓話(リオの五輪訪問)と丸亀RCと同様の流れでした。また、例会の中で時間を頂き、丸亀RCについて英語で説明をする機会を頂きました。丸亀RCの人数や年齢構成や主な活動について説明し、国際奉仕委員としての活動や同好会についても説明しました。特に好評だったのが日本酒同好会で、皆さん興味を持っているようでした。嬉しい事に、当日の夜に事務局長にお招き頂き夕食を頂きました。ホロホロ鳥等現地の食事を頂き、楽しい時間を過ごしました。続いてドイツのケンペン・クレーフェルト・ロータリークラブを表敬訪問しました。オランダとの国境にあたり、人口は7万5千人の町です。例会前に丸亀RCのバナーを紹介した際に、バナーの裏面に日本地図があり丸亀の位置が書いてありますが、その地図を見て、東京の位置やそれ以上に福島的位置について聞かれたことが印象に残ってます。世界中から原発事故について注目されているのを実感しました。こちらの例会でも時間を頂き、丸亀RCについて説明する機会を得ました。



(裏へ続く)

2016.10.20

Vol.54

No14

(2632)

ドイツで一番盛り上がったのは田中会員の100%出席を50年以上続けている話題でした。ちなみに会員卓話はドイツの赤十字・輸血についての内容でした。フランスとドイツは歴史上、侵略の問題もあり不仲だったそうです。その課題克服の為、当時のフランス大統領とドイツ首相が1963年に両国間での協定を締結し、それをきっかけにフランスとドイツ間でロータリークラブの姉妹クラブ締結が進んだそうです。両国に訪問し、感じたことは、どちらのクラブでもおもてなしを受け、歓迎をしてもらえた、ロータリーは世界中にネットワークを持つ、世界基準のクラブだと実感した、訪問先の言語を少しでも話せれば、その国をリスペクトすることにも繋がり、より打ち解けられると感じた。勇気を持って両国に訪問して良かったというのが私の感想です。